

## 学校での授業改善、子どもたちの学習習慣等の確立を図り、学力向上につなげましょう！

全国学力・学習状況調査は、教科に関する調査と児童生徒に対する質問調査等を総合的に活用することで、授業改善や子どもたちの学習状況の改善に役立てることを目的として実施されています。

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、課題がみられた学習内容の系統性を全教職員で意識し、各学年における授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげるとともに、子どもたちの学習習慣等の確立を図っていきましょう。

### 教科に関する調査の結果

※（ ）内の数値は全国（公立）の平均正答率

\*中学校理科はIRTスコア（詳細は3ページ）

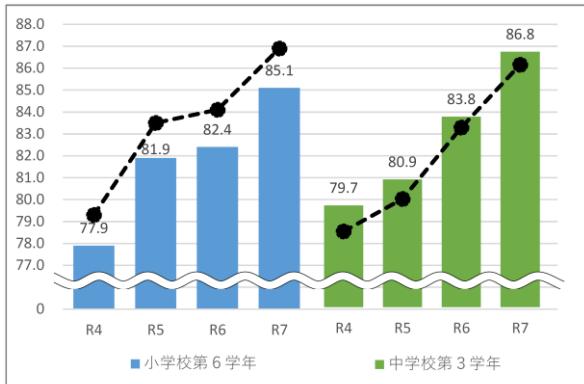
平均正答率	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
三重県	66.1%	57.1%	56.0%	53.2%	47.4%	498*

(66.8%) (58.0%) (57.1%) (54.3%) (48.3%) (503)

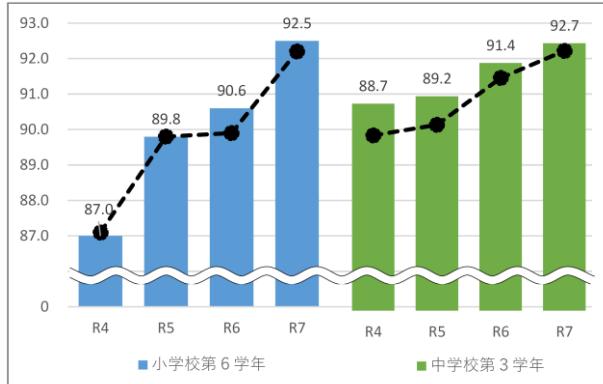
◆調査問題は、学習指導要領の理念、目標・内容等に基づくものであり、小学校第5学年、中学校第2学年までに十分に身につけ、活用できるようにしておくべきと考えられるものが出題されています。

### 児童生徒質問調査の結果

●自分には、よいところがあると思う  
-●-は全国平均

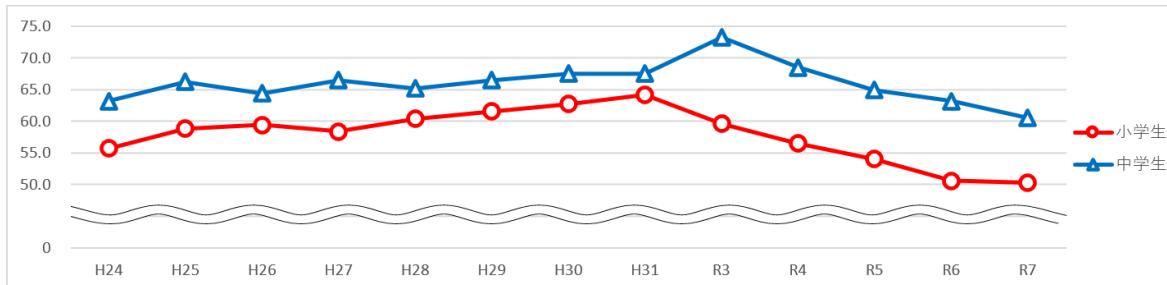


●先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う  
-●-は全国平均



◆「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が年々上昇しており、自己肯定感が高まっています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した割合も年々上昇し、全国平均より高い状況です。

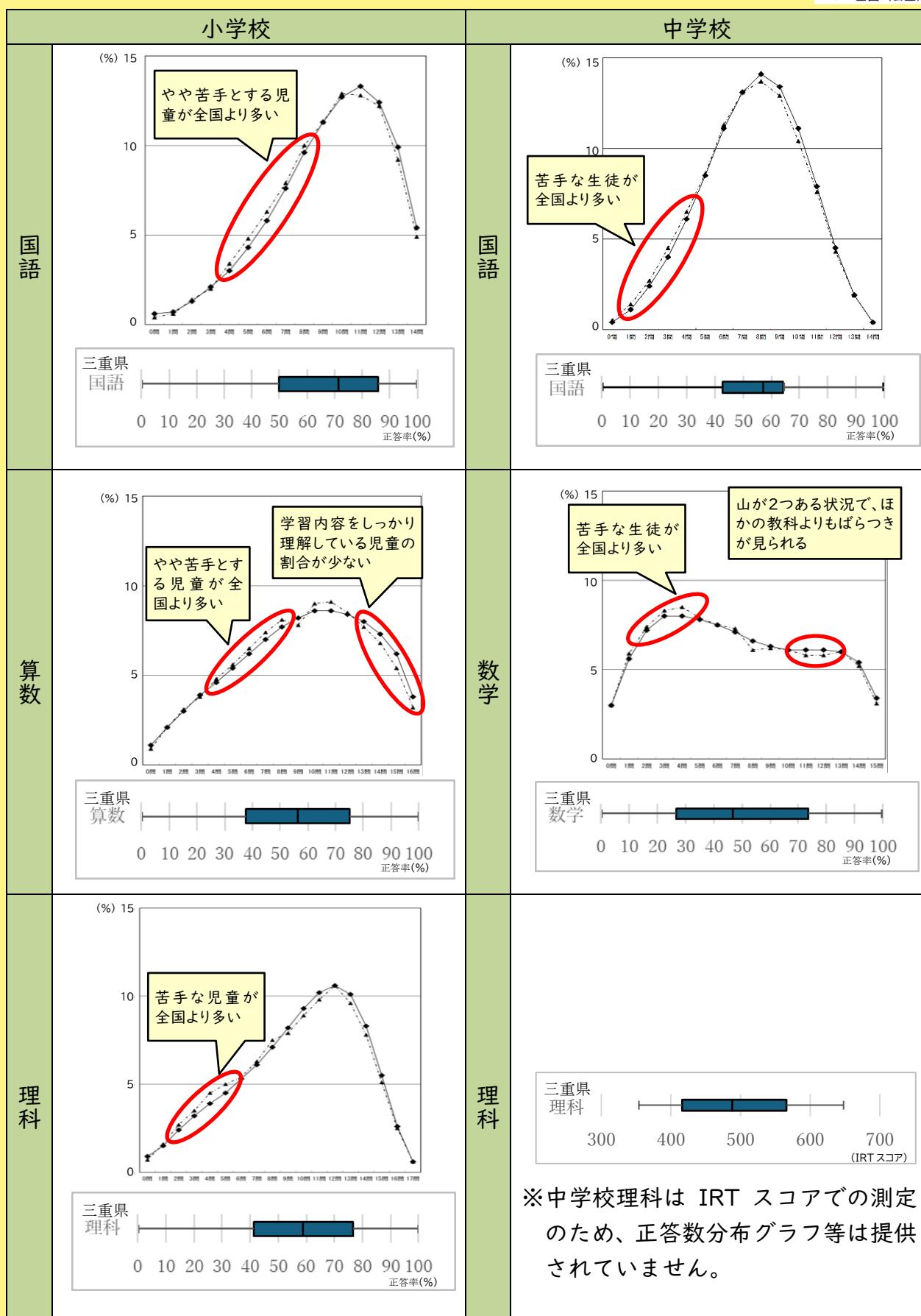
●平日の学習時間（1時間以上）【三重県】



◆近年、授業時間以外に平日1時間以上学習する小中学生が年々減っており、平成19年度の調査開始以降、最も低い状況です。

## 正答数分布グラフ及び正答率・IRTスコアの分布

-▲・三重県（公立）  
—◆・全国（公立）



自校の分布の状況を、確認し、自校の課題に応じた取組を進めてください

## 正答数分布グラフの活用を！

### すべての子どもたちの学びを支えるために

全国学力・学習状況調査の結果は、児童生徒一人ひとりの学びをよりよく支えるための出発点です。結果をもとに、子どもたちの学びの実態を丁寧に見取り、授業改善につなげていきましょう。

#### ●学習内容をしっかり理解している子どもたちの割合が少ない場合

- ・授業の中で、より深く考えたり、発展的な内容に取り組んだりする機会を設けることも大切です。
- ・探究的な活動や言語活動の充実を通して、一人ひとりの学びを広げ、深めていきましょう。

#### ●やや苦手な子どもたちの割合が多い場合

- ・やや苦手な子どもたちは、学習内容の大筋は理解しているものの、中心となる考え方の理解があいまいであったり、知識や技能の使い方が定着していなかったりします。「あと一步でできる」状態を見取り、確実な理解へ導くことが重要です。
- ・「今日のめあて」や「これまでの学びとのつながり」を確認することで、見通しや学習の焦点がはっきりし、集中して学べるようになります。

#### ●苦手な子どもたちの割合が多い場合

- ・学習の土台となる基礎的な力が身についていないことが考えられます。
- ・まずは、学習のつまずきを早期に把握し、基本的な内容をしっかり身につけられるよう、丁寧に指導していく必要があります。

## 苦手な子どもたちへの指導の具体例

子どもの「わからない」を「わかった」「できた」に変えていくために、次のような工夫が効果的です。

#### ●スマールステップで教える

- ・学習内容を小さな単位に分け、確実に理解できるようにします。
- ・小さなステップをクリアするたびに成功体験が得られ、やる気や自信につながります。
- ・どこでつまずいているかを把握しやすくなるため、教師はそのポイントに合わせた指導を集中して行うことができます。

#### ●モデル（お手本）を示す

- ・考え方や解き方などの思考のプロセスを可視化します。
- ・抽象的な概念や手順を、視覚的・聴覚的に具体的に示すことで、言語情報だけでは理解が難しいことも、「どうすれば良いか」を明確に把握できます。
- ・モデルを見て「自分にもできそうだ」という見通しが立ちやすくなり、成功体験を積み重ねることで、「やればできる」という自己効力感を育む基盤となります。

#### ●多様な教材や具体物を活用する

- ・個々の子どもが持つ得意な認知特性に対応した教材を提供することで、言語情報だけではつまずいていた子どもの「わかる」機会を増やすことができます。

#### ●授業の最後に「たしかめプリント」&つまずきに応じたワークシートを活用する

- ・授業で学んだ内容の理解と定着状況を把握することにより、学習のどこで困っているかを見取り、個別に手だてを講じることができます。
- ・つまずきの状況に応じたワークシートに取り組むことにより、つまずきの克服や「できた！」という達成感につなげ、次の学びへの意欲を高めます。

「たしかめプリント」は、「みえの学力向上県民運動ホームページ、先生のページからダウンロードできます。



## IRTってなに？

### IRT（項目反応理論）

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論

### IRTスコア

IRT（項目反応理論）に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの

### IRTのイメージ

#### 視力検査を例としたイメージ

※イメージを表すことを目的として作成したため、示された7つのランドルト環の大きさ（難しさ）がAさんとBさんで異なっている。

	素点方式（正答数・正答率）	IRT方式																
得点(スコア)の表現方法	何個のランドルト環（C）を見ることができたか	どの大きさのランドルト環（C）を安定的に見ることができたか																
得点(スコア)の例	<table border="1"><tr><td>0.1</td><td>○○</td></tr><tr><td>0.2</td><td>○○○○</td></tr><tr><td>0.3</td><td>✗</td></tr><tr><td>0.4</td><td>✗</td></tr></table> <p>Aさん 5問/7問 (正答率71%) &gt; Bさん 4問/7問 (正答率57%)</p>	0.1	○○	0.2	○○○○	0.3	✗	0.4	✗	<table border="1"><tr><td>0.1</td><td>○○○○</td></tr><tr><td>0.2</td><td>○○○○</td></tr><tr><td>0.3</td><td>✗</td></tr><tr><td>0.4</td><td>✗</td></tr></table> <p>Aさん 0.2 &lt; Bさん 0.3</p>	0.1	○○○○	0.2	○○○○	0.3	✗	0.4	✗
0.1	○○																	
0.2	○○○○																	
0.3	✗																	
0.4	✗																	
0.1	○○○○																	
0.2	○○○○																	
0.3	✗																	
0.4	✗																	

**素点方式**の場合は、Aさんの方が正答数（見ることができたランドルト環の数）・正答率が高くなります。

**IRT方式**の場合は、Bさんの方がスコア（視力）が高くなります。

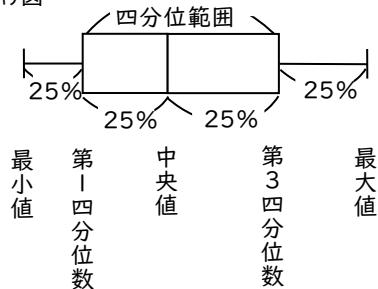
出典「令和7年度全国学力・学習状況調査『中学校理科』IRTを用いた結果返却について」

## 箱ひげ図ってなに？

箱ひげ図とは、データの分布を大まかに把握するためのグラフです。箱（長方形）とひげ（線）を使って、データの最大値・最小値・四分位数を表します。

図の箱の部分は、正答率の順に児童生徒を並べたとき、中央付近の約50%の児童生徒が、どれくらいの正答率であったかを示します。

#### ・箱ひげ図



#### 四分位数

データを四等分した数で、下から1/4にある数を第1四分位数、中央値を第2四分位数、上から1/4にある数を第3四分位数と表します。

#### 四分位範囲

データの中央付近の約50%が含まれる区間の大きさ（第3四分位数と第1四分位数の差）を表します。

# 小学校 国語

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することが求められています。

小学校国語 3-2(2)【正答率】48.3% (全国差 -3.0)

「あたらし」は新しい形  
「ふんいき」ということはを「ふんいき」と言つて、人が多くなりました。こう言つて、「たいへんだ、日本語がこれわでしまつう」と思つて、人がいるからせません。でも、心配しないでください。にたよなことは、昔からよくあることです。  
「できたばかり、まだ古くない」という意味で、私たちは「新しい」と言います。でも、日本の奈良時代には、「あらたに」と言つていました。今でも、「新しく」という意味で「あらたに」と言つでしょう。  
「あらた」は、大昔から使われていました。ところが、次の平安時代には、「あらたなし」が「あらた」になりました。「たの順番が入れかわっていますね」と「ら」の順番が入れかわっていますね。「あらたし」に比べれば、「あらたなし」は新しい形です。それが変化して、今では「あたらし」になりました。

【資料2】

二 木村さんは、[資料1]を読み、言葉は年月とともにどのような変化をするのか調べたいと思いました。そこで、次の[資料2]と[資料3]を読み、分かったことをあとの「木村さんのメモ」に整理しています。これらをよく読んで、あとの(1)と(2)の問に答えましょう。

## ◆指導のポイント

要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが大切です。

指導に当たっては、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉えることができるようになることが大切です。その際、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えるができるように指導することも重要です。

また、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することの必要性を感じられるよう  
に、活動の目的や価値を明確にしておくことが大切です。例えば、対話の中で、友  
達と考えを伝え合ったり、自分の経験や知識を結び付けて考えたりしながら、文章  
を読む活動の目的を明確にできるようにすると効果的です。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【小学校】 国語

(国立教育政策研究所 HP)

[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary\\_lang.htm](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary_lang.htm)



報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。

## 第5・6学年 「読むこと」(説明的文章)の学習の中で…

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、要旨を把握する

### ポイント1 文章の一部だけでなく全体の構成を捉えさせる

要旨とは、書き手が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、書き手の考えの中心となる事柄のことを指しています。要旨を把握するためには、文章全体の構成を捉えることが必要となります。文章の各部分だけを取り上げるのではなく、全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えることが重要です。

### ポイント2 事実と感想、意見などとの関係を押さえさせる

文章全体の構成を捉える際には、叙述を基に、書き手が、どのような事実を理由や事例として挙げているのか、どんな感想や意見をもっているのかなどに着目して、事実と感想、意見などとの関係を押さえることが大切です。

#### たしかめプリント

- ◆ ステップ1では、【新聞の下書き】にまとめられている内容が、【文章の一部】のどこを基に書かれているのかが理解できているかどうかを確認します。書き手の意見（問題提起）が書かれている部分と事実が書かれている部分をきちんと分けるように指導することが大切です。
- ◆ ステップ2では、アカウミガメが減少した原因を、複数の文から全て読み取れるかどうかを確認します。原因となることを挙げさせ、字数や文末などの条件にあわせて要約できるように指導することが大切です。

#### 【ウミガメ研究員の話】

この辺りは、昔からアカウミガメの産卵が非常に多い所だったんだよ。調査を始めてから30年になるけれど、一番多かった年は、ひと夏の間に900回上陸し、300回以上の産卵が確認できたんだ。  
ところが、近年ではめっきりその数が減ってしまったね。原因是、海岸の環境の変化だね。  
今から8年前に海岸の一部のうめ立て工事が始まってから、ウミガメにとってよい環境ではなくなってしまった。  
また、たくさんの空きかんやベットボトルなどが打ち上げられているというごみの問題もあるね。  
海岸でキャンプを夜どおり楽しむ人が増えたことも原因として考えられるね。

#### ＜解答欄＞

そ	の	原	因	と	し	て	,

○アカウミガメが減っている原因を【ウミガメ研究員の話】にふさわしい表現で書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。  
なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

#### アカウミガメ保護活動のお願い

みなさんは、校区の海岸でアカウミガメが、産卵しているのを知っていますか。毎年6月から8月にかけて産卵するため、わたしたちの地域にある海岸にやってきますが、その数は年々減ってきてています。絶滅危惧種であるアカウミガメは、私たちの学校で観察を始めた10年前には、15頭でしたが、昨年はわずか2頭でした。

その原因として、

A

そのため、アカウミガメが怖がらないよう、アカウミガメが上陸する時期には見回りをしたり、注意看板を立てたりするなど、もっと地域の人にも、アカウミガメのことを知ってもらうことが必要です。このことから、アカウミガメの保護活動に協力してくれる人を募集します。

#### ステップ2

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書こう  
年組番

内容をあとの条件に合わせて書きましょう。

A  
にはい  
に入る

「たしかめプリント」は、「みえの学力向上県民運動ホームページ、先生のページからダウンロードできますので、ご活用ください。



小学校算数 2 (2) 【正答率】44.9% (全国差 -5.3)

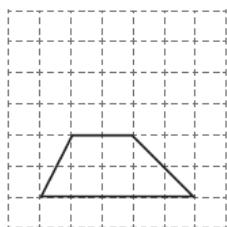
2

(2) わかさんには、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。

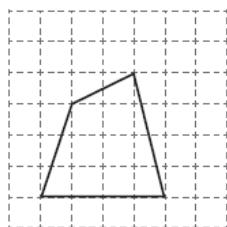
下の 1 から 5 までのうち、台形はどれですか。

3つ選んで、その番号を書きましょう。

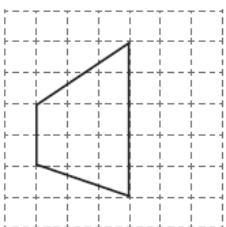
1



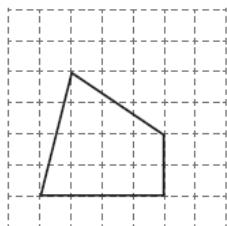
2



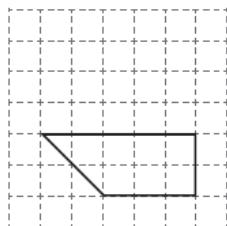
3



4



5



◆指導のポイント

図形の学習では、観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質に基づいて図形を弁別できるようにすることが大切です。

指導に当たっては、例えば、置き方をいろいろと変えて示された幾つかの四角形の中から台形を弁別し、その理由を説明する活動が考えられます。その際、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に弁別した理由を説明することで、置き方をいろいろと変えても図形の性質は変わらないことを理解できるようになります。また、台形でない図形についても、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に台形でない理由を説明したり、それらの図形をどのように構成し直せば台形になるのかを考えたりすることができるようになります。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【小学校】 算数

(国立教育政策研究所 HP)

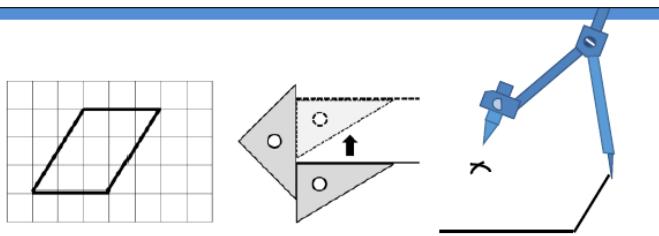
[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary\\_math.html](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary_math.html)

報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。

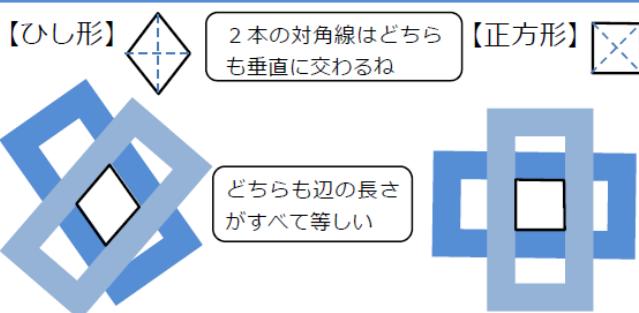


## 第4学年 平行四辺形、ひし形、台形の学習では…

ねらい：直線の位置関係や辺の長さに着目して、平行四辺形、ひし形、台形についてとらえることができるようとする



ねらい：図形の性質を基に既習の図形をとらえ直すことができるようとする



### 【指導のポイント】

★操作活動を多く取り入れ、辺の位置関係（垂直・平行）について気付いたことを書いたり説明したりします。

★コンパスによる作図については、コンパスを使う理由を考えさせることが大切です。等しい長さを写し取る活動をとおして、平行四辺形やひし形の向かい合っている辺の長さが等しいという性質を理解させましょう。

**【たしかめプリント】平行四辺形・台形・ひし形の特徴を書こう (ダウンロード)**

### 【指導のポイント】

★平行が何組あるかという視点から長方形や正方形について振り返り、平行四辺形と同じ性質をもっている図形としてとらえ直すことが大切です。辺の長さにも着目させ、正方形は、ひし形と同じ性質であることをとらえさせます。その際、対角線の長さや対角線の垂直な関係にも着目させることが大切です。

**【たしかめプリント】辺の長さや対角線の特徴から四角形を考えよう (ダウンロード)**

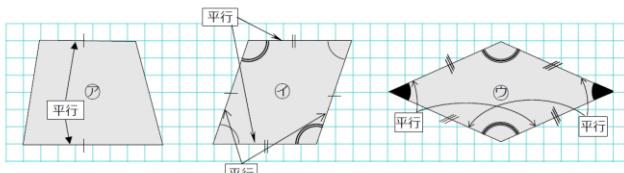
### たしかめプリント

4年生 平行四辺形・台形・ひし形の特徴を書こう

年 組 番 名前

1 こうじさんは、平行四辺形・台形・ひし形の辺のならび方や、辺の長さ、角の大きさについてわかったことを、次のように図にかきました。

\*— = ≡ は辺の長さ、∠ は角の大きさが、それぞれの図の中で等しいことを表します。



① ②、③、④の図形の名前を書きましょう

② ( ) ③ ( ) ④ ( )

② ③、④の図形について、それぞれの図形の特徴を書きましょう。

①の図形の特徴

②の図形の特徴

③の図形の特徴

### たしかめプリント

4年生 辺の長さや対角線の特徴から四角形を考えよう

年 組 番 名前

1 次の図のように、2枚の長方形の紙を重ねたところ、重なったところに四角形アイウエができました。次に、四角形アイウエの辺の長さや角度をはかりました。

① 辺アイの長さは5cmです。辺ウエの長さは、何cmになりますか。

( )

② 辺アイの長さも5cmです。辺ウエの長さは、何cmになりますか。

( )

③ 辺アイと平行な直線を調べました。辺アイと平行な辺はどれですか。

( )

④ 角⑤の角度は、65°です。角⑥は何度になりますか。また、角⑦は何度ですか。

角⑤ ( ) 角⑥ ( ) 角⑦ ( )

⑤ 四角形アイウエの図形の名前を書きましょう。

( )

⑥ この四角形の対角線の特徴について、「真ん中」「垂直」という言葉を使って、説明しましょう。

2 次のように、対角線の特徴を使って、四角形をかきます。どんな四角形ができますか。できる四角形の名前を書きましょう。



( )



( )



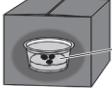
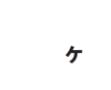
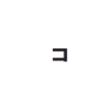
( )

「たしかめプリント」は、「みえの学力向上県民運動ホームページ、先生のページからダウンロード出来ますので、ご活用ください。

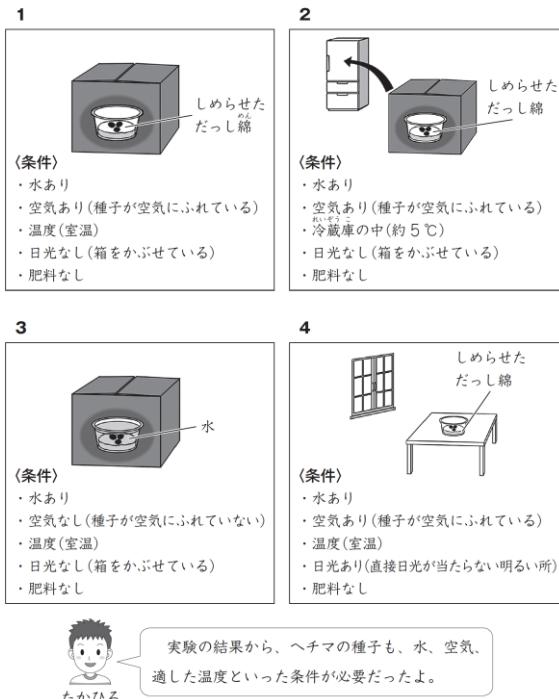


小学校理科 3 (3) 【正答率】57.4% (全国差 -4.6)

たかひろさんたちは、インゲンマメの発芽の条件について調べたことを  
思い出し、次のように、ヘチマの発芽について調べることにしました。

【問題】ヘチマの種子は、どのような条件で発芽するのだろうか。	
【予想】インゲンマメの種子と同じように、水、空気、適した温度（室温）といった条件で発芽すると思う。	
【方法①】水が必要か調べる。	
	
（条件） ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし	（条件） ・水なし ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし
【方法②】空気が必要か調べる。	
	
（条件） ・水あり ・空気あり（種子が空気にふれている） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし	（条件） ・水あり ・空気なし（種子が空気にふれていない） ・温度（室温） ・日光なし（箱をかぶせている） ・肥料なし
【方法③】適した温度（室温）が必要か調べる。	
	
ケ	コ

(3) 【方法③】の「ケ」と「コ」は、それぞれどのような条件で実験すればよいですか。ケとコにあてはまる実験を、下の1から4の中から2つ選んで、その番号を書きましょう。



たかひろ  
実験の結果から、ヘチマの種子も、水、空気、適した温度といった条件が必要だったよ。

◆指導のポイント

自然の事物・現象に影響を与えると考えられる要因を予想し、その要因を変える条件と変えない条件に区別しながら、予想や仮説を基に解決するための実験の方法を計画することが大切です。

指導に当たっては、予想や仮説を基に、実験に関する全ての条件を明確にした上で、どの条件を変える必要があるかを検討したり、他の条件は全て同じになっているかを確認したりすることが大切です。例えば、本設問のように、実験に関する条件が多いとき、温度を変えることを意図していても、結果として日光と温度の2つの条件が異なる実験方法になっていることがあります。図や表などに整理したり、実験前に計画を見直したりして、検証したい条件のみが変わっているかを確認する学習活動が考えられます。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【小学校】 理科

(国立教育政策研究所 HP)

[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary\\_sci.html](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/primary_sci.html)

報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。



## 第5学年 「植物の発芽、成長、結実」の授業例

「植物の発芽、成長、結実」

～差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、問題を見いだす～

〈実施対象学年〉

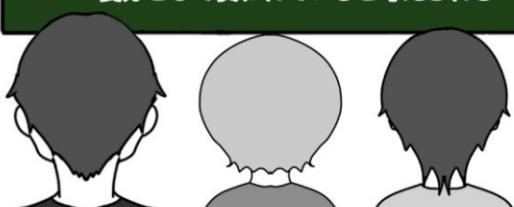
第5学年

【問題を解決していく中で生まれた疑問から、新たな問題を見いだす】

植物の「発芽の条件」や、子葉に含まれる養分と発芽との関係について解決していく中で、これまでの経験や実験結果との差異点や共通点を基にして、具体的な「成長の条件」に着目し、新たな問題を見いだす場面

インゲンマメの種子	発芽する前の種子	発芽したあと落ちた子葉
ヨウ素液の反応	あおむらさき	変化なし

種子の中でのんぶんは、発芽のための養分として使われていると考えられる

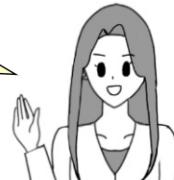


【前時の振り返り】

発芽する前と後のインゲンマメの種子の様子の比較から、どのようなことが分かりましたか。

種子の中にあった養分は、発芽のために使われて、なくなっていたことが分かりました。

発芽したあとのインゲンマメは、どうなっていますか。



種子には養分がないのに、発芽したあとも成長し続けています。  
インゲンマメの成長には、何が必要なのだろう。



1年生でアサガオを育てたときに、元気なアサガオになるように工夫したことがあったね。



日光がよく当たるようにしたり、肥料をあげたりしたよ。水もいっぱいあげたね。



インゲンマメの種子の発芽に必要な条件と、元気なアサガオを育てた時に工夫した点について整理してみましょう。



表に整理してみると、条件や工夫した点の中に同じものやちがうものがあるよ。インゲンマメの成長に必要な条件を予想して、実験できるかもしれないね。

インゲンマメの種子の発芽の条件と、アサガオを育てた時に工夫した点

	インゲンマメ	アサガオ
条件や工夫した点	水・空気・適した温度	日光・肥料・水

私は、「肥料」が必要な条件なのか実験したいです。



私は、「日光」が必要な条件なのか調べてみたいです。



他にも必要な条件があるかもしれないで、もう少し考えたいです。



それでは、学級の共通の問題をどのようにするとよいですか。



**問題** インゲンマメがさらに成長していくためには、どのような条件が必要なのだろうか。

### ポイント

具体的な条件に着目できるように、植物の成長に関する既習の内容や生活の場面と関係付けて、問題を見いだすことができるようになることが大切である。

1年生でアサガオを育てた経験や、これまでの生活の場面の中で植物を元気に育てる時に工夫した点を振り返り、差異点や共通点を基に、インゲンマメのさらなる成長の具体的な条件に着目した問題を見いだすように指導していく。

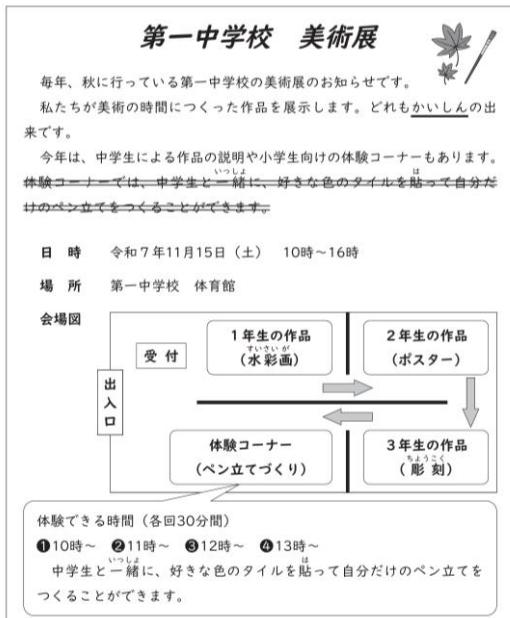
成長に適した季節など、必要な条件が他にあることを予想する児童の考えを大切にすることで、植物の多様性を捉える機会ともしたい。また、動物の成長の過程と関係付けることで、植物の成長と動物の成長の差異点や共通点について、考えることができるようにならせる。

# 中学校 国語

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとめを意識して文章の構成や展開を考えることが求められています。

## 中学校国語 I 三【正答率】60.7% (全国差 -2.6)

【ちらし】(更新版①)



三 中井さんは、【ちらし】(更新版①) のように、――線の部分を削除して  の中に書き加えました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

### ◆指導のポイント

案内文など実用的な文章を書く際には、項目ごとの内容のまとめに、文章全体の中でどのような役割をもたせるかを明確にすることが必要です。その上で、集めた材料を比較、分類、関係付けなどして整理し、情報と情報との関係を見いだし、それぞれの情報を文章全体のどこに位置付けることが適切であるかなど、文章の構成や展開を考えながら書くことが大切です。

例えば、案内文に必要な項目を立て、それぞれの情報をどの項目に入れ、どのような順序で示すかなど、意図を明確にして文章の構成や展開を考える学習が考えられます。その際、本問で選択肢として示したもののように、文章の構成や展開の意図として考えられるものを生徒に示しながら考えさせることも効果的です。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【中学校】 国語

(国立教育政策研究所 HP)

[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle\\_lang.html](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle_lang.html)

報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。



# 第1学年 「書くこと」の学習の中で…

## ④ 書いた文章を検討する。



皆さんいろいろな書き方で書いていますね。書き方の例をいくつか示します。読み手に納得してもらうための書き方として、それぞれのよい点や不十分な点はどこか考えてみましょう。

### 〔書き方の例〕

②

昨年度の新入生説明会では、普段の授業の様子を知りたいという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

①

昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

③

今年度の新入生説明会では、学校行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。例えば、体育祭の学級対抗リレーが盛り上がっている様子を見せるにしてはどうかと考えました。

④

昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

### 〔生徒の話合いの例〕

②は、何をするかはよく分かりますが、どこからそう考えたのかが不十分なので納得できません。③はどこからそう考えたのか分かるので、納得できると思います。



でも、②は、行事の動画を見せるという提案をしているけれど、取り上げている「授業の様子を知りたい」という感想はこの提案に結び付いていませんよ。



④は、着目した感想は述べているけれど、どのような感想か分からぬので、この提案でよいのかよく分かりません。



③は、取り上げた感想と提案がきちんと結び付いているし、感想の内容もよく分かるので、読み手も納得できそうですね。



そうですね。④は、自分の考えだけでなく、その根拠を具体的に書いているので、納得できそうですね。でも、もう少し読み手が理解しやすいように書くためには、前の文と後の文の関係をはっきりと示したほうがいいですね。④に、どのような言葉を入れると分かりやすくなりますか。



「今年度は、」の前に「そこで」や「だから」など、前の文と後の文をつなぐ言葉を入れるとよいと思います。

### 〔修正の例〕

④

昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。**そこで**、今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。



読み手に納得してもらうためには、自分の考えを詳しく書くだけではなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要がありますね。また、その根拠を明確に示すために、自分の考えと根拠との関係を表す言葉を使って書くことも大切ですね。このような視点で自分の文章を見直しましょう。

## ⑤ 自分の文章を改善する。

【生徒が修正した例】

私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズをするとよいと思います。絵の具など小学校で使っている道具を中学校の授業でも使うかどうかを、クイズで楽しく教えられると小学生も分かりやすいと思います。



昨年度の新入生説明会の感想に「小学校で使っていた道具でどれが中学校でも使うのか教えてほしかった」という声がありました。そこで私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズを提案します。具体的には、絵の具など小学校

※ 必要に応じて、提案する内容と根拠を示す順序、接続する語句等について助言する。

※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

## ⑥ 書いた文章を読み合い、書き方のよかった点を伝え合う。



自分の考えが伝わるように根拠を明確にして提案する文章を書いてきましたが、実際の書き方にはどのような違いがあるでしょうか。お互いの文章を読んで、気付いたことを挙げてみましょう。

【クラウドでの共有の例】



【生徒の発言の例】



私は、先に感想を書いてから、自分のアイディアを説明しましたが、Aさんのように、先に提案したいアイディアを書いてから根拠となる感想に触れても分かりやすいと思いました。



私は「そこで」を使って意見と根拠を結び付けて書きましたが、Bさんは「これらを解決するためには」という言葉を使っていました。このような表現でも関係はしっかりと伝わりますね。



Cさんのように、一つのアイディアに対して複数の感想を根拠として取り上げていると、より必要性が感じられると思います。



気付いたことを踏まえて、自分の文章を見直してみましょう。見直して、修正したいところがあれば修正しましょう。

※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

## ⑦ 学習を振り返る。



今回の自分の文章で、自分がどんな意図で、どのような工夫をして書いたか、改めて振り返りましょう。それを踏まえて、読み手に納得してもらえるように考えを書いて伝えることについて、学んだことを書きましょう。

### 【活用する際のポイント】

- ④～⑥では、文章について着目する点を明確にすることが重要である。そのため、アイディアを提案する文章については、自分の考えとその根拠を簡潔に書かせることが効果的である。
- 他教科等の学習との関連を図り、生徒や学校の実態に応じて別の話題を取り上げて書くことも考えられる。

中学校数学 I 【正答率】26.5% (全国差 -5.3)

- 1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

◆指導のポイント

整数の性質について考察する場面において、整数を様々な視点で分類し、1より大きい自然数のうち、1とその数自身以外には約数をもたない数の集合が素数であることを理解できるように指導することが大切です。

指導に当たっては、1から9までの自然数について、それぞれの約数を求め、1とその数以外に約数があるかどうかに着目して分類する活動を取り入れることが考えられます。また、「1は素数に含まれる」と考える生徒もいることから、その後の学習において素数を用いる際に、1は素数に含まれないことを再確認する場面を設定することも大切です。例えば、素因数分解について学習する場面において、仮に1を素数に含めた場合、12を素数の積で表すと、 $1 \times 2^2 \times 3$ 、 $1^2 \times 2^2 \times 3$ のような複数の表し方ができます。一方で、1を素数に含めない場合、 $2^2 \times 3$ ただ一通りに決まります。このように自然数の素因数分解がただ一通りに決まることと関連付けて、1は素数に含まれないとの理解を深めることができます。

このような活動を通して、素数や整数の性質についての理解を深めることができるようにすることが大切です。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【中学校】 数学

(国立教育政策研究所 HP)

[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle\\_math.html](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle_math.html)

報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。



## 基礎・基本の定着を!

数と式

## 正負の数、文字式、一元一次方程式

年 組 番 名前

1 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選んで、その記号に○をつけなさい。

ア -5 イ 0 ウ 1 エ 2.5 オ 4

2 絶対値が 6 である数をすべて書きなさい。

3  $a$  と  $b$  が整数のとき、下のアからエまでの計算のうち、計算の結果が整数にならないことがあるものはどれですか。正しいものを 1 つ選んで、その記号に○をつけなさい。ただし、除法では、0 でわる場合を除きます。

ア  $a+b$  イ  $a-b$  ウ  $a \times b$  エ  $a \div b$

4 42 を素因数分解しなさい。

5 ある日の最低気温は  $-3^{\circ}\text{C}$  でした。これは前日の最低気温より  $2^{\circ}\text{C}$  高い気温です。前日の最低気温を求める式と答えを書きなさい。

式

答え  
 $^{\circ}\text{C}$

6  $5 \times (4 - 7)$  を計算しなさい。

7 ある数を 3 でわると、商が  $a$  で余りが 2 になります。ある数を、 $a$  を用いた式で表しなさい。

8 「プールの水の深さは 120cm 以下である」という数量の関係を、プールの水の深さを  $x\text{ cm}$  として不等式で表しなさい。

9  $a=2$ ,  $b=-3$  のとき、式  $ab^2$  の値を求めなさい。

10 一次方程式  $x+12 = -2x$  を解きなさい。

$x =$

11 縦と横の長さの比が 5 : 8 の長方形の看板をつくります。看板の縦の長さが 45cm のときの横の長さを決めるために、横の長さを  $x\text{ cm}$  として比例式をつくりなさい。ただし、つくった比例式を解く必要はありません。

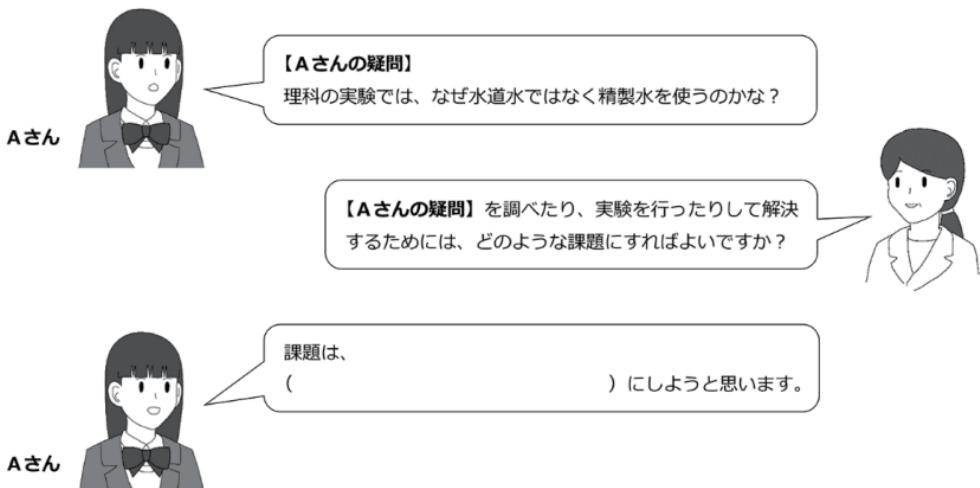
12  $2(5x+9y) - 5(2x+3y)$  を計算しなさい。

## 中学校 理科

身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できることが求められています。

### 中学校理科 I (2) 【正答率】41.4% (全国差 -4.8)

課題を設定する



(2)

【Aさんの疑問】を解決するために、( ) に適切な課題を書きなさい。

課題

#### ◆指導のポイント

見通しをもって科学的に探究をするためには、疑問や見いだした問題から解決するための課題を設定することが大切です。

指導に当たっては、身の回りの事象から生じた疑問や問題が解決可能かどうかに着目し、科学的な探究の課題を自分の言葉で表現する学習場面を設定することが考えられます。

その際、生徒が疑問や問題から自分の言葉で課題を表現し、見通しをもって探究できるようにするために、「課題の把握」の段階で生徒が疑問や問題を見いだしやすい自然の事物・現象を提示することが重要です。

(出典) 令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 【中学校】 理科

(国立教育政策研究所 HP)

[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle\\_sci.html](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/middle_sci.html)

報告書には、「授業アイディア例」も掲載されています。



## IRT バンドの活用を!

### 1. IRT バンドの分布を確認する



本校の IRT バンドの分布は図 1 のようになっています。



IRT バンド 3 や 4 に属する生徒の割合が高いですね。

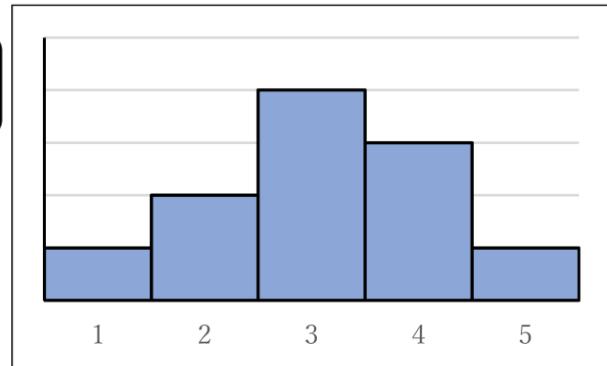
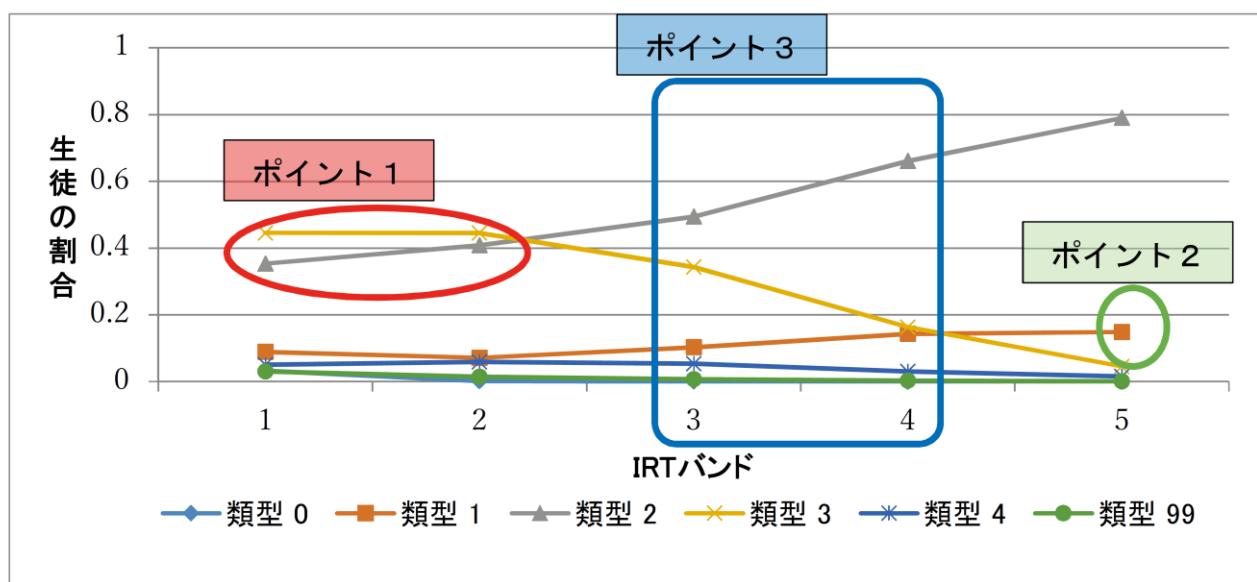


図 1 IRT バンドの分布

### 2. 報告書より全国的な傾向を確認する



報告書から、全国的な傾向は下のようになりますね。



#### ポイント 1について



IRT バンド 1、2 に属する生徒の約 8 割が解答類型 2 または 3 と解答していますね。



解答類型 3 と解答している生徒は、直列と並列では抵抗の値が大きいのは、並列であると考えています。IRT バンド 1、2 に属する生徒には、回路全体の抵抗をどのように考えればよいかについて、授業を改善することが大事になりそうですね。

そこができるようになったら、電力と発熱量の関係を考えるようにするといいですね。

## ポイント2について



誤答の解答類型の中で、IRT バンド4、5に属する生徒において、一定の割合を占めている類型がありますね。



解答類型1ですね。

この類型は、回路全体の抵抗の大きいのが直列回路で、水が速く温まる装置も直列回路だと考えているようです。

抵抗が小さいと、流れる電流が大きくなるため、生じる電力が大きくなるので、発熱量が大きくなります。この点に留意して、指導の改善が必要になりそうですね。

## 3. 本校のIRTバンドの分布を見て、指導の改善を考える



本校は、IRT バンド3、4に属する生徒の割合が高いのが特徴です。どのようなことが分かりますか。

## ポイント3について



IRT バンド3に属する生徒では、解答類型3と解答している生徒が約3割いますね。この層を正答の解答類型2にすることができればいいですね。どのように指導を改善すればいいでしょうか？



直列回路と並列回路とでは、同じ電圧をえたとき、回路全体の抵抗が大きくなるのはどちらかが、判断できるようになればいいと考えます。授業改善としては、電流計や電圧計を用いて電流や電圧を測定する場面を設定し、電流・電圧・抵抗の関係から回路全体の抵抗を思考できるようにしたいと思います。



IRT バンド1、2に属する生徒へは、IRT バンド3に属する生徒より丁寧に支援することで、回路全体の抵抗についての知識が身に付くようになると思います。

## 4. 終わりに



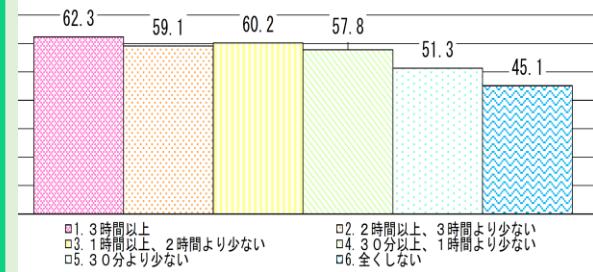
IRT バンドの分布と、IRT バンド別類型割合グラフから分析して、授業改善に活用しましょう。

# 家庭学習の習慣化を！

## 学習習慣と学力の関係

全国学力・学習状況調査では、家庭学習時間が長い児童ほど平均正答率が高い傾向にあります。もちろん大切なのは、家庭学習の「量」だけではありません。自分で計画を立て、実行し、振り返るという学びの習慣を身に付けることが、学力の定着と学びへの自信につながります。学校・家庭・地域が一体となって、子どもが自らの学びをデザインできるよう支援していきましょう。

### ○クロス集計（平日の学習時間と小学校算数の正答率）



令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料 (<https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/index.html>)



## — 毎日の習慣の積み重ねが、大きな成長につながります —

### 学びに向かう力の育成

家庭学習の習慣の確立に向け、学級活動等の時間を活用し、次のような力の育成に取り組み、子どもが家庭でも主体的に学習に取り組めるように指導することが大切です。

- ・計画を立てて実行する「自己マネジメント力」
- ・課題を見つけて改善する「課題解決力」
- ・粘り強く取り組む「集中力・忍耐力」

こうした力は、社会で自立して生きるために欠かせない力であり、将来を切り拓く力の基礎となります。



### 家庭でできる学びの環境づくり

家庭での毎日の積み重ねは、大人になってからも成長し続ける力の土台になり、未来の大きな力につながります。家庭においても次のようなことを意識して子どもに関わり、励ましながら、学びと育ちを支えていただくよう継続して伝えていくことが大切です。

- ・計画を立てて取り組む
- ・新しい課題にも前向きに挑戦する
- ・最後までやり抜く

家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業への集中力が高まります。また、いろいろな学習分野への興味・関心も高まります。

家庭学習の習慣化に向けた「保護者用チラシ」は、「みえの学力向上県民運動ホームページからダウンロードできますのでご活用ください。